

第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（低学年の部）

タイトル：おまわりさんにインタビュー

氏名：宮本 輝（ミヤモト テル）

小学校名：北海道 旭川市立愛宕東小学校 三年

ぼくには、いところがあります。ぼくは小学三年生だけど、いところは大人で、おまわりさんです。お母さんから聞いた時、とってもおどろきました。だって、いところは女の人だからです。それなのに、おまわりさんなんてすごいと思いました。ぼくが交番やパトカーで見るおまわりさんは男の人ばかりでした。

いとことごはんを食べたとき、女の人なのにすごいね、どんな仕事なの、と聞いてみました。

「きのうの夜から今日の朝まで仕事していたんだよ。台風だったからたくさん電話が鳴って道路にとんできた木をよけにいたりしたんだよ」と言いました。何もたべていないからおなかぺこぺこでスパゲティをもりもり食べていました。

女の人なのにパトカーをうんでんしたり、木をよけたり、夜でも一生けんめい仕事をしていておどろきました。だからインタビューをしてみることにしました。交番のおまわりさんは、どんなことが大へんですか。

「事けんや事こ、おとし物でこまっている人のたいおう。色いろなことをやるよ。ほうりつとせいどをおぼえて悪い人をつかまえるからべん強が大へんなんだよ」と、おしえてくれました。

じゃあ、おまわりさんになってよかったことは何ですか。

「ありがとうとか、ごくろう様、がんばってねって言ってもらえると一生けんめいやってよかったなってうれしい気持ちになるよ」と、いところはうれしそうに言いました。

ぼくはインタビューしてみて、女の人とか男の人とか、ないんだなと思いました。

みんなたよりになるかっこいいおまわりさんなんだな、すごいなと思いました。ぼくにはまだゆめはないけど、もしおまわりさんになったら一生けんめいがんばりたいです。